

特定非営利活動法人まちづくり活性化土浦（茨城県土浦市）



土浦市の中心市街地活性化を願う地域住民と商業者が自ら主体となって、公共交通の運送事業者や行政との協力関係をつくりながら、「キララちゃんバス」の運行を中心とした事業を進め、中心市街地の活性化を目的とした公共交通の確保・充実を実現。

（取組の概要）

1. 多様な主体の実質的参画

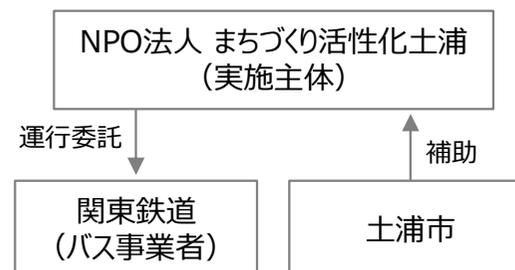
- NPO法人まちづくり活性化土浦は、土浦市内外の商業・観光・子育てなど多様な業種の事業者が参画し、平成16年に設立。
- 「キララちゃんバス」は、NPO法人自らが企画、ルート選定を行い、平成17年から運行を開始。2年間の試験運行を経て、平成19年から本格運行を開始。
- 「キララちゃんバス」の運営は、事業実施者であるNPO法人まちづくり活性化土浦と、運送事業者（関東鉄道株）、行政（土浦市）の三者協定に基づく協働事業であり、官民一体となって「まちの活性化」を推進している。

2. 創意工夫

- 運送収入や行政からの運行費補助のほか、商店等の広告協賛をNPO法人が募集し、協賛収入を事業費に充てている。
- 地域の企業や住民が、バスサポーター（賛助会員。法人1口3,000円、個人1,000円。令和6年度136件）や、バスに乗車して目的地の案内などを行うバスボランティアとして参加。
- 各施設・店舗の協力により、自家用車からバスへ乗り継ぐ利用者向けのパーク&バスライド用の駐車場を市内4か所に設定。

3. 自立性・継続性

- 利用促進のためのワークショップの開催や、バス利用促進調査を定期的実施。得られた意見などを踏まえ、路線や時刻の見直しを実施。運行するルートについては、路線バスと競合しないこと、1周40分以内とすることなどを踏まえて決定している。
- バスロケーションシステム（バスロケ）やICカード決済を導入し、利便性の向上を行っている。
- また、バスロケや乗降システムを自ら管理運用し、運行状況や利用状況の把握を行っている。
- 公共交通体験教室やキララちゃんバスツアーなどのイベントの開催、他イベントへの参加など、各方面でキララちゃんバスのPRを行い、新規利用者への周知活動を実施。
- 令和6年には運行20周年を迎え、シンポジウムを開催。利用者数は、運賃値上げやコロナ禍による影響により減少した時期はあったものの、近年は増加傾向にあり、令和6年度は13万人以上となった。



広告協賛



車内ポスター



車外ステッカー

キララちゃんバス 利用者数

